



## アクティビティ STEP1-D2 少年兵士と子どもの権利条約

コンゴ民主共和国の少年を通じて、子どもの権利条約が奪われている子どもについて深く考えていきます。守られていなかた子どもの権利考えることを通して、子どもの権利条約について触れていきます。

目的: 1、子ども兵士の事例を通して児童労働や国際的な課題を知る。

2、元子ども兵士ミシェルのお話しを通して、生きていることの大切さ、ポジティブな想いの大切さを知る。

3、子どもの権利について学ぶ

所要時間: 45分

実施基準: ★★★★★

形式: グループワーク 4~6 人程度

### ■教材概要

◇教材の種類: スライド(PDF 資料)、ワークシート1枚、子どもの権利シート1枚、映像資料(3分半)

### ■授業導入例 :

日本は、未曾有の天災、大震災や津波、原発事故による放射能汚染、新型コロナウイルスなど様々な経験しています。新型コロナウイルスにおいては、私たちは、今までの生活や 価値観を見直すことにもなりました。私たちが当たり前のこととして享受してきた便利で豊かな生活が、実は大変 危ういものの上に成り立っていたという事実。今まで考えもしなかったことです。

でも、よく考えてみると、私たちが享受している便利で快適な生活が誰かの犠牲の上に成り立っているという例は、他にもたくさんあるようです。例えば、携帯電話やパソコンをはじめとする便利な電子機器。もはやこれらの電子機器の 恩恵なくしては、私たちの日常生活は成り立たないかのような気持ちにさえなります。周りには常に新しい製品の情報が 流れ、私たちはさらなる利便性を求めて、古いものを捨て新しいものに飛びつきます。しかし、これらの電子機器に使われているレアメタルが資源を保有する国々で紛争を引き起こし、今この瞬間にも多くの人々を苦しめているのです。これからご紹介するミシェルもそんな紛争に巻き込まれ、苦しんだ過去を持つ青年の一人です。ミシェルの苦しみは 私たちとは無関係だと言い切れるのでしょうか？ 一緒に考えて行きましょう！

### ■授業の進め方とスライドの説明

1、スライドにのっとり、説明を行う

スライド6: 補足説明

私たちが使う携帯電話、パソコン、ゲーム、テレビ、デジカメ、ハイブリッド・カー等には レアメタルと呼ばれる鉱物資源が使われています。レアメタルには様々な種類のものがありますが、コンゴで産出される資源には、スズ・コルタン・コバルト、亜鉛、銀、銅、 タングステン、ウラン、石油、天然ガスなど31種類に上ります。

スライド8: 問いかけ例:

☞他に身の回りにコンゴ民主共和国で産出される資源と関係のある製品はあるでしょうか？

調べてみよう！ これらの製品なしで皆生活できるかな？

#### スライド18：補足説明

※1 子ども兵士の中には、家族や親しい人の復讐のため敵対する軍隊へ自ら入隊を希望する子もいます。 ※2 恐怖心をなくしたり、脱走を防ぐために、薬物を投与されるなどしていません。

中毒症状に陥らせるケースも報告されています。

※3 軍隊によっては仲間や肉親の殺害や身体の切断を強要されるなど惨忍な任務につかされることもあります。

※4 女の子たちの多くは、上官から所有物とみなされ、性的虐待を受け、望まない結婚や妊娠、HIV/AIDSなどの感染の危険にもさらされています。

#### 2、映像を見る

ワークシートを配布し、ワークを進めながら順次ワークに取り掛かります。

#### 3、子どもの権利条約のリーフレットを配布し、子どもの権利について説明

参考：<https://ftcj.org/we-movement/childrights>